

ドラフト第5章

5-1 財政の定義と仕組み

- ①財政とは ②政府の5つの機能

5-2 財政理論の前提—効率と公正

- ①なぜ効率と公正を問題にするか ②効率性の基準 ③公正の原理 ④不平等の計測
⑤効率原理と公正原理の統合

5-3 租税と課税理論

- ①税の種類 ②現代日本の税制

5-4 財政赤字

- ①財政赤字と公債発行 ②公債の経済的效果 ③財政再建問題

5-5 歳出

- ①一般会計歳出 ②社会保障関係費と財政

5-6 国債の負担論*

- ①通常の負担論

- ②リカードの等価定理

「国債で行う経済政策は、税で行う政策と同じ効果なので、国債の発行は将来の自分に借金をするのと同じだ」

- ③バローの中立性命題

「リカードの命題は、現在と将来の世代が違う場合は成り立たないが、それでも人間が合理的に推論する限り、公債の発行はリカードの命題と同じ効果をもたらす」

- ⑤そして、財政再建は可能なのか

【本章の課題】

- 1 財政とは何かを定義しなさい。
- 2 財政の機能を5つ挙げて、それらの内容を簡潔に説明しなさい。
- 3 財政に関して効率性と公正をなぜ問題にしなければいけないのかを説明しなさい。
- 4 不平等の計測を説明し、現代日本がどの程度不平等なのかを調べなさい。
- 5 税の種類と日本の税制の概略を述べなさい。
- 6 財政赤字と公債発行の現状を説明しなさい。
- 7 財政再建の可能性を原理的に説明するとともに現実的な対応を考えなさい。
- 8 現代日本の歳出状況を説明しなさい。
- 9 社会保障費、特に年金財政の改革方針について説明しなさい。
- 10 国債の負担論に関しての代表的な理論を簡潔に紹介しなさい。

今日の焦点

- ・財政理論、効率と公正の関係
- ・不平等と財政
- ・財政赤字と財政再建の理論と実際

- 1 寺子屋第7回は、財政（ドラフト第5章）をとりあげた。
- 2 参加者：新井、杉田、金子、埴、芦名（埼玉飯能高）、黒崎（神奈川湘南台高）、葦名（元武蔵高）の7名。場所、ネットワーク東京オフィス。14:00～15:00 まで。
- 3 講義と質疑、討論の概要は以下の通りである。
 - 1) 講義は新井が担当し、事前に配布した「財政の考え方」のドラフトをもとに進められた。柱はレジュメにあるように五つであるが、財政理論のなかの効率と公正の関係、不平等、財政赤字と財政再建の理論と実際の三点に焦点をあわせて講義はすすめられた。
 - 2) まず財政の定義と仕組み、政府の役割を押さえた。この部分は、高校教科書に書かれている箇所であるが、政府の役割に関しては、教科書には触れられていない、将来世代への配慮、経済活動のルール作りの二つに注目を寄せる指摘があった。
 - 3) 財政における効率と公正では、効率は資源配分（allocation）、公正は所得配分（distribution）に関するという箇所が問題になり、厚生経済学の第一原理、第二原理への言及がされ。効率性の原点となるパレート最適の意味が紹介された。
 - 4) 所得配分の不平等に関しては、ジニ係数の解説と、現実問題としての格差の実態、子供の貧困問題などが話し合われた。教えている生徒たちの生活実態を知ったうえで経済の授業は進めるべきという指摘もされた。
 - 5) 租税と租税理論に関しては、教科書レベルの知識の確認がされたが、一般会計は扱っているのに特別会計が教科書では十分に取り扱いされないのはなぜか、また特別会計に注目することで得られる行政の非効率など、タックスペイヤーとしての生徒を作るうえでは大事ではないかという指摘がなされた。さらに、歳出項目の確認では福祉予算に関連して、厚労省や社保庁が行っている年金教育の功績と問題点が指摘された。
 - 6) 財政赤字とその持続性の問題では、リカードの等価定理、バローの中立命題が解説され、その成立の条件とそれがもつ意味が指摘され、経済学者での評価の違い、またこの命題そのものをどう理解すべきなのかなどに関して議論となった。特に、国債の発行償還は将来予測とも絡むので、将来社会の構想や現在の幸せと将来の安心との関係をどう私たちが考え、授業で伝えるかが課題との指摘もあった。
 - 7) 財政問題は政治と絡むということから、主権者教育、選挙の問題点に話題がひろがった。また、生徒に明るい話をしたいという意見に対しては、きちんとした現状分析とそれを合理的に説明することがそれに相当するのではという意見も出された。さらに、現状に対しては、学校や教室で我々教員が汗をかくことで、担保できるという意見も出された。
 - 8) 今回の寺子屋では、経済理論を理解することと並行して、現代社会の見方、それへの教育や教師のかかわり方まで幅広い議論ができた。また、エコノミストや経済学者の著作（図説日本の財政、坂井、神取、藻谷など）の評価も出され、情報交換、これからの研究の刺激にもなる会であった。
- 4 次回寺子屋：11月寺子屋はなし。12月寺子屋は12月27日（火）冬の教室の日の午前10:00～、慶応義塾大学三田キャンパス4号館407B会議室。篠原先生の参加で金融を中心に講義をしていただく予定。